恵那市地域医療ビジョン　パブリックコメント

募集期間:令和6年2月 20 日から令和6年3月 19 日
意　　見:6件
受 付 日:令和6年3月 18 日

●1件目

平成 23 年7月 22 日・恵那市公立病院等の在り方検討委員報告書及び令和6年2月 15 日・恵那市地域医療ビジョン(案)「策定委員会会議要旨」を通読しての意見。
〇今から 40 年前、当時は 70 歳以上の高齢者は医療費無料の時代もありました。
1985 年国の「地域医療計画」によって病床削減が打ち出され、翌年には医師削減計画。さらに国立・公立の医療機関の統廃合が進められ、旧恵那市に国立の結核病棟が払い下げされました。

2020 年・厚労省の再編統合リストが発表され、全国の公立・公的病院の 25%。424 院の中には新築されて4年目の恵那市民病院、改築して 14 年の東濃厚生病院、多治見市民病院、中津川市・国保坂下病院など東濃圏域だけでも4ケ所の病院が名指しされました。

国は地方分権を尊重しているのかのように装いつつ「公立病院に求めれる役割」として、「地域医療構想」「病院改革ガイドプラン」などと具体的な数値を揚げて改革を押し進め、現在進められている『恵那市地域医療ビジョン』も結果的に国や県による医療費削減計画の押しつけに過ぎません。

本来「自由主義経済」のもと民間も公立も互いにより良い医療を求めて競争し、利用者は高度な医療機関を選択し治療を受ける。行政はその運用をみまもる。そんな関係がいつのまにか変化し、中央社会保険医療協議会の直近の動きにも見られるとおり、地方の医療・福祉関係者の努力も無視するかのような「効率化」計画を提言しています。

住民の命と健康を守るためにも国の医療費削減、社会保障削減政策を転換させることこそ求められています。
恵那市により検討して頂きたいことはまず以下の二点。
一点目

「地域ビジョン」の中では恵那市の医療機関関連の検討はされていますが、市民の 60%近くが恵那市以外の医療機関を利用しています。恵南地域の市民の多くは東濃西部の医療機関を利用しています。
東濃厚生病院「(仮称)公立東濃中部医療センター」、多治見県病院等々との連携・協力等、医療ビジョンのなかで方向性をもっと具体的に示して頂きたい。とくに厚生病院の統廃合後の対応は喫緊の課題です。

新病院オープン(最近令和8年2月として一年延期)後の通院・診療の足の確保。脳

卒中、心臓停止の場合の緊急救命対応など、これまでの時間より20分以上はかかります。

「救命ヘリ活用」などと瑞浪市は以前から言っていますが、行政間の協議はされていません。最近、瑞浪市の「市民の会」と岐阜県厚生連との懇談でも「検討中」とかいって不明確です。恵那市が責任をもって合併協定の立場に沿って対応されるよう望みます。

さらに新しい病院では「個室を主体とした母子同室化できる産科病棟」とアピールされています。近辺の個人産科医院が申し合わせたように閉院しています。「300人を超えた」として、安心していないで、恵那市民病院も何らかの方向性をもって協議すべきではないでしょうか。

二点目

明智町においても三軒の開業医と二軒の歯科医、二軒の整体院等の診察・診療が身近な医療機関として利用されています。ビジョンでも述べられているように、夜間、休日など緊急の場合の対応には住民は不安です。

今後の医療、介護との結合。訪問診療、みとり・終末診断等についても過去の父親の時のように電話で来て頂けるのか心配です。地域の公的医療機関、個人開業医に全てを頼りきる、負担より強いるには限度も配慮も必要ですが、行政の支援・指導を踏まえて地域の安心・安全な身近な医療機関として大切です。高齢の患者が遠くの病院に行かなくて診察して頂くためにも、地域の核としての体制の拡充と明確な位置づけが大切と考えます。

●2件目

私は自主運行バスに乗って町内の内科医院にかよい、薬をもらっています。ひざが悪くつえを使っていることもあって肥満なので、山岡健康増進センターの利用とセットでと考え歯科は国保山岡診療所でした。廃業まで。

町内の医院が将来廃業したら内科は国保山岡診療所や国保上矢作病院へ、歯科は上矢作歯科診療所へと思っています。若い医師、看護師、薬剤師が働きたくなる診療所、病院を恵南地域で（できれば今ある場所を希望する。）につくって下さい。
働きやすさは医療ICTがつくってくれると期待します。

医師の顔を見て病状を話したいという友達が多い世代なのでもし、診療車を診療所と同じ時間帯にというのならば医師と看護師共に初診から患者の自宅へ来てほしい。調剤薬も自宅まで届けてほしい。歯科診療も訪問でうけたい。料金がかかる時には市の補助をねがいたいです。いそがしい子育て世代が診療所へ行っても待ち時間が少なくなって喜ばれそうだろうと思います。

紹介状を持って予約時間に病院に行っても受付がすんでからの待ち時間が長く前夜緊張で睡眠不足の私はうたた寝してしまいました。呼び出しのバイブレーションはど

のように身につけているとよいでしょうか。

●3件目

大きな問題なので簡単には出来ないのですが私は伊那市の Maas にとても興味を持ちました。高齢者になった今こんな事業が出来ると安心です。

●4件目

毎月病院におせわになっています。文字を書くのもおっくうになっています。

恵那市の人口は、私のような者でさえ医療からはずされると若者にも未来がなく親に手がかかるようになると思います。仕事がなくなり、生活できませんね。病院は、町内の個人病院と東濃厚生です。

●5件目

恵南地域の地域医療の拠点としての上矢作病院の位置づけを明確にし救急体制を含め充実させていただきたい。

地域に住む者として医療に関しての生活圏、生活動線を考えると、上矢作病院、東濃厚生病院、中津川市民病院などを包摂した論議をしてください

●6件目

少子高齢化と人口減少が今後ますますすすみ、病院の運営は大変になるだろうと思われますが、やはり病院のない地域では生活はできない。上矢作病院は地域の方の尽力によって建てられた病院であり「生命のとりで」でなくしてはいけない病院だと思います。公立病院は「経営」「採算」を考えずにあってほしい。全ゆるネットワークや、地域包括ケアシステムなどの充実で地域医療を守ってほしいと思います。